



タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない	コメント	
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの 特徴を踏まえた理念の 明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅 生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を 実現するため、事業所独自の理念を掲げてい る	11	8			必要なケアを行いあすなら10 に基本ケアを実施している。	特になし
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の 向上のための 取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および 事業所の理念について、その内容を十分に認 識している	6	13				特になし
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対 応時のオペレーターなどの判断能力など）の向上 のため、職員を育成するための具体的な仕組 みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等 を確保している	5	8	6		研修を受ける機会は少ないが 全体会議で経営的な話は多い ので介護業界の動向は知れ る。	特になし
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を 検討する際、職員の能力が最大限に発揮さ れ、能力開発が促されるよう配慮している	5	9	5		個々が持つ能力が発揮出来る ようにシフトが組まれている。	特になし
②	介護職・看護職間の 相互理解を深めるための 機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状 況に係る相互の理解・認識の共有のための機 会が、十分に確保されている	8	11			一緒にケア会議を行ったり利 用者さんの状況の報告がしあ えている。	特になし

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない	
(3) 適切な組織体制の構築								
①	組織マネジメントの 取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	5	9	5	容態が急変する際、人数不足で十分な対応できない時もある。	特になし
②	介護・医療連携推進会議で 得られた意見等の 適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている	8	9	2	指摘されたことに対してスピードをもって改善することが出来ている。	特になし
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
①	利用者等の状況に係る情報の 随時更新・共有のための 環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	9	10		各自、スマートフォンで共有できる	特になし
(5) 安全管理の徹底								
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）	4	14	1		雰囲気がよく 良い職員が多いと思う。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	11	7		カギをかけた取り扱い扱いには 全員に周知されている。 未評価1名	特になし

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる	できて いない ことが多い	できて いない ことが多い	全くで きてい ない	
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護画面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	10	7	2		特になし
		12	介護・看護の画面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	9	8	2	看護師ときちんと共有できている。	特になし
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	9	10			特になし
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	9	6	4		特になし
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	11	7	1	人員不足ではあるが急な対応もできるように調整している。	特になし
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	9	10		きちんとされている。	特になし

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない	
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	8	9	2	きちんとされている。	特になし
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	11	8		わからないことなど聞くと教えてもらえケアに反映できる。	特になし
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等にもサービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	9	9	1	主任やサブリーダーの一人たちが誠心誠意対応している。	特になし
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	8	11		主任やサブリーダーの一人たちが誠心誠意対応している。	特になし
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	9	10		主任やサブリーダーの一人たちが誠心誠意対応している。	特になし

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる	できて いない ことが多い	できて いない ことが多い	全くで きてい ない	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
①	利用者等の状況の変化について の、ケアマネジャーとの適切な 情報共有及びケアプランへの積 極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービ ス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の 変化等に係る情報が共有され、サービスの提 供日時等が共同で決められている	8	10	1		特になし
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケ アプランへの積極的な提案（地域内のフォー マル・インフォーマルサービスの活用等を含 む）が行われている	7	9	3		特になし
②	定期的なアセスメント結果や目 標の達成状況等に関する、多職 種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者 等の状況や計画目標の達成状況について、多 職種への情報提供が行われている	10	5	4		介護士、看護師、ケアマネ、 理学療法士、栄養士さんがい て共有できている。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
①	利用者の在宅生活の継続に必要 となる、利用者等に対する包括 的なサポートについての、多職種 による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括 的なサポート（保険外サービス、インフォー マルケア等の活用を含む）について、必要に 応じて多職種による検討が行われている（※ 任意評価項目）	9	4	5		何か頼みたいことを 誰にいついいのか 分からないうちから 気を使ってしまおう できないことははっ きり言ってほしい。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設 からの退院・退所の際などに、切れ目のない 介護・看護サービスの提供するために、必要 に応じて多職種による検討や情報の共有が行 われている（※任意評価項目）	9	8	1		特になし
②	多職種による効果的な役割分担 及び連携に係る検討と、必要に 応じた関係者等への積極的な提 案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要 となる、包括的なサポート体制を構築するた め、多職種による効果的な役割分担や連携方 策等について検討し、共有がされている（※ 任意評価項目）	8	8	2		特になし

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況		コメント		
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	コメント	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	12	4	2	未評価1名	特になし
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	8	8	3		特になし
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	7	9	3		特になし
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	6	13			特になし
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）	7	8	4		特になし
III 結果評価 (Outcome)								
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	12	7			特になし
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	6	12			特になし 最初こそ不穏になる人もいますが、関係性が作られ継続されている。 未評価1名